

C21

福岡縣
尋常師範
學校

文部
讀本
小學
習字帖

尋常科用

六

圖書 和圖書 迦



a 1 3 8 0 3 3 2 8 3 0 a

福岡教育大学蔵書

社 會 科 學 門	
教 育 部	
教 育 法 教 書 道 項	
目	次
全 冊 / 內第	冊
分 類 第 番 號	號
372.82	

T11

72

F7

MADE IN JAPAN

福地源一郎著

正價金六錢五厘

文部
讀本
小學
習字
帖
尋常科用
六

海石村田浩藏書

今日ハ紀元節トシテ家々皆旗
を心一齊港ふ於てハ祝砲を

葦ち船にも飾りを致は是ハ
何く所祭ふ所産は引

紀元節ハ我國第一代の帝
神武天皇様大和の國橿原と

中江所と都を市定と遊初め
て即位に即きて天下を鎮め給

ひ一日少く貴き邊までハ所
宴會も有之最も重き祝日に

巾着火

村境に獨住ひの老婦ハ憐る

る姿よりて粗末乃襦袢を着僅
うに賃錢よりて糸と紡ぎ居り

不便の者ゑ

私方の雞頻ふ聲とせしと噪

ぎに方お駈馬き見届は雲昨夕

親なるが嘴まで卵の殻を割り

と睨みたる計り此離子を猫
が身狭縮めて執さうに致し

作と有親ハ事を揉み心配と
見え因う鞭を揚げて猫を

逐ひ散り難儀を救ひし

梅雨降けりさ寂しくし其所

厭ひ無く學問に勵むるなり

今度之試験に及第お達

多く内事と察しやい

批者後昨朝軒先の樟本と切

株ふ靴を突掛け足の爪に傷
を被りい故油染残着け布に

て巻き療養居仁に兩三日中
ハ全快出勤を致す

去る土曜日以来之強雨より
川と俄に水とを相増し川沿

乃市街へを瀧の水く押来り
瞬く間に床の上迄浸し檣杙

を流し大槓はそれ槓に曲り
諸人駈廻り入乱走大駈ふて

清夜杳然る寂寥之日ハ大風ニ
天硝子障子を吹飛む一掃ハ

横に倒し植木も抜けに所存
之以んも水も漏れぬ疵を受け

以者資不少以由不取敢以報
知中進侯

鎌田の原ハ芒蓬之類限ふく
生ハ其中に水溜るど有之類

人々外注来いぬー不尸山度
近頃此原牧よお成り一面

毛糰のめくにて野飼の牛馬
其處を杓遠ひ又ハ躍り狂

を遊び居るやう

内室の掛物と申し鎌倉権五郎

景政三浦為次ふ顔を踏ま
し
て大を抜るゝた恥子りと

怒る所免道稚郎子高麗比表
を破りて其之禮を処せめ玉ふ

所又を阿直岐王仁など教師
として百濟を始めて持来り

し漢字残字び玉ふ所ハ玉極
宜敷に存ル

遺失品届

東京市麹町区三年町二番地士族

鶴飼兼介

本年三月十日奉所匿録町一

丁目ヨリ南葛飾郡亀井戸村
之間ニ於テ別紙目録ニ品遺

夫候間此殿御廟中上座也

明治年月日

右鶴飼董尔



吾妻橋整言察署御中

(別紙目録)

一 風呂敷包 壹個

但本綿紺染鶴丸之紋有り

一 帳面 貳冊

一 算盤 壹面

一寫本

彙冊

一書簡

彙通

右之通之御座候也

拾物庙

本月十五日愛知郡熱田所神

宮島居前_ニ於_テ別紙目錄之

品拾得侯間現品相添此股所

届申上彦也

盜難御訴

本月廿七日午前二時頃三

可有之、前夜締り致し置キ候
裏口之、天明放し有之候ニ付家

内取調度、要別紙目録ニ品盜
取ラレ候間、石取敢此股所

申上彦也

(別帝目錄)

一煙草入

壹個

但皮袋赤銅色繪獅子金物

象牙筒 珊瑚珠緒占

一系織單物 壹枚

但藍二千筋男物

右之通二所產候也

管外寄留廟

奈良縣添下郡五條町十番地平民

伊豆島源平

慶應二年五月二日生

右ハ奉月八日ヨリ當縣下芳
賀郡真岡町三番地ハ寄留仕

候此段及御届者也

年月日

右
伊豆嶋源平
印

地主

沖田淨賢



真岡町長跡部純左殿

雇人寄田屈

石川縣鹿島郡高田村主番地

平民穂積倉五郎三男

穂積周兵衛

明治二年四月五日生

右之者本月三日ヨリ下僕ト

シテ雇入私方ニ寄留為致候

間此殷沛廟中上候也

和歌山縣名草郡内原村番地平民

年月日

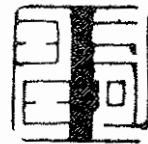
右傭主

結城林五郎



内原村長笠置幹固殿

海石村田浩藏書



版權所有

明治廿四年二月
出版御届
日

全年月
版權登錄濟

全年月
見本非賣品

著者

東京府平民

福地源一郎

東京々橋區築地二丁目五番地

書者

大阪府平民

村田浩藏

大阪東區土軒町廿五番屋敷

發行兼
印刷者

東京府平民

西田傳助

東京深川公園地第三十四番

印刷製本發賣所

生成舎

繁本良之助

大阪東區土軒町廿五番屋敷

廣岡幸助

東京深川公園地第三十四番

廣岡商店

東京室町三丁目七番地

